



平成25年4月25日

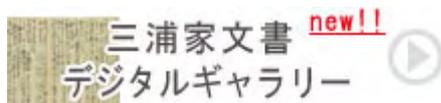
三浦家文書デジタルギャラリーの公開について

<概要>

・三浦家文書デジタルギャラリーを附属図書館ホームページにて公開しました。

今回公開したのは、三浦家文書のうち「日録」と呼ばれる史料104点です。その内4点については翻刻も同時に公開しています。

岡山大学附属図書館ホームページ：<http://www.lib.okayama-u.ac.jp/index.html>



<本文>

○岡山大学附属図書館は、真庭市教育委員会と共同で三浦家文書のデジタル撮影を進めてきました。今回のデジタルギャラリーの公開により、これまで利用が難しかった三浦家文書の利用が可能となりました。

・三浦家文書について

岡山大学附属図書館所蔵の三浦家文書は、旧勝山藩主三浦家から移管を受けた藩政史料群です。その祖三浦正次は徳川家光の側近として活躍、寛永16年(1639)には下野国壬生城主となり、2万5千石を領しました。その後、日向国延岡、三河国刈谷・西尾と転封を重ね、明和2年(1765)三浦明次の代に美作国勝山へ移封。以降、明治4年(1871)の廃藩置県まで十代にわたり藩領を統治しました。

史料点数は417点。本文書の大半は藩政の重要事項を記した「日録」であり、元禄13年(1700)から明治5年(1872)にわたる258冊が残っています。

<お問い合わせ先>

岡山大学附属図書館情報管理課 課長

(氏名) 山根 博

(電話番号) 086-251-7302

(FAX番号) 086-251-7314

(メール) yamane-h@adm.okayama-u.ac.jp